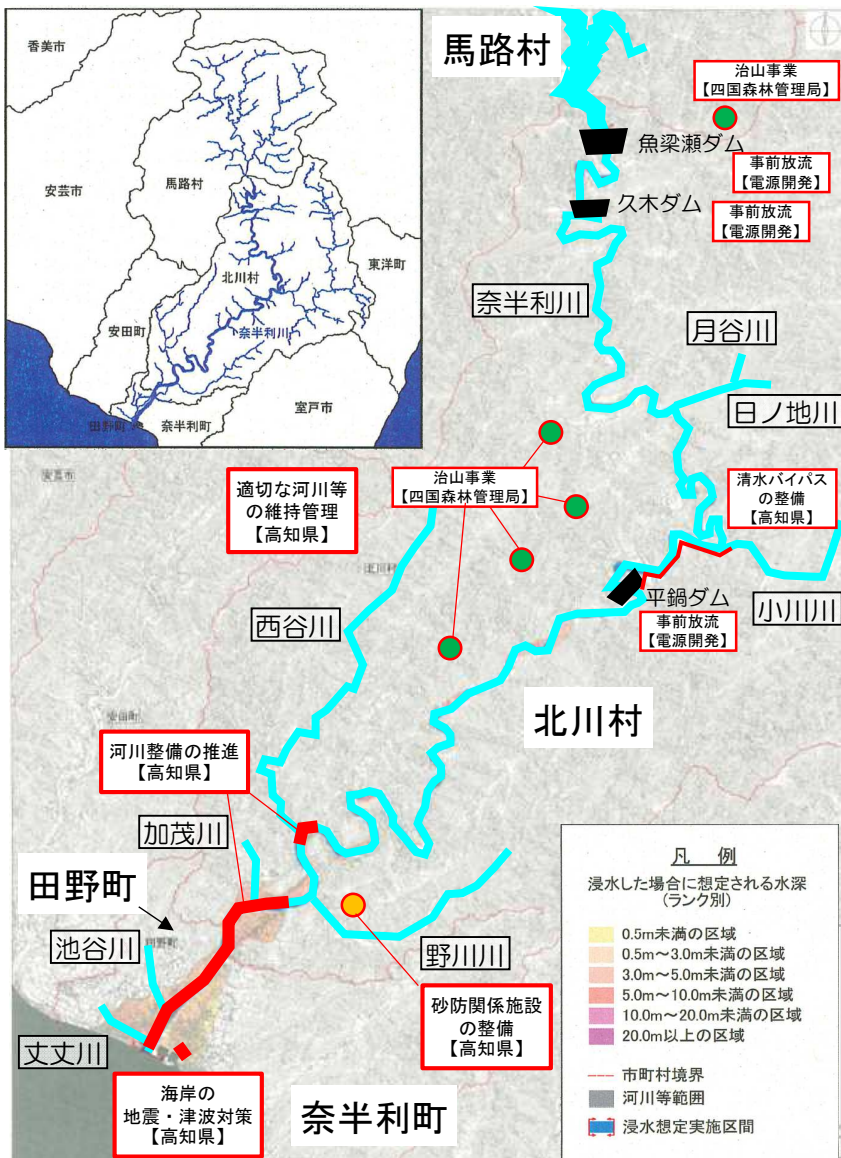




奈半利川水系については、年超過確率1/50の規模の洪水が発生しても安全に流せる対策を進めるとともに、流域における砂防関係施設の整備、海岸の地震・津波対策や避難のためのソフト対策に取り組み、浸水被害の軽減を図る。



■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河川整備の推進
- ・適切な河川等の維持管理
- ・清水バイパスの整備
- ・内水排除
- ・ダム事前放流の実施
- ・森林の保全・整備
- ・農地の保全・整備
- ・砂防関係施設の整備
- ・流木対策の推進
- ・地震、津波対策 等

■ 事業規模	
河川対策	(約100億円)
海岸対策	(約5億円)

■ 被害対象を減少させるための対策

- ・土地利用の検討
- ・水害リスクの低い地域への重要施設の移転 等

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・水位計・カメラの設置、水位情報及び土砂災害警戒情報等の提供
- ・避難の判断に必要な情報の提供
- ・各種浸水想定区域、土砂災害警戒区域の指定・公表
- ・各種ハザードマップの作成、公表、周知
- ・安全な避難のための取組・防災教育（要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進、防災教育・避難訓練の実施）
- ・発災時の応急措置及び発災後の早期復旧のための取組（防災拠点と緊急輸送ルートの確保） 等



※関係者で連携して、詳細な内容や新たな対策を検討する。

●奈半利川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、流域町村、その他流域関係者が連携・協働し、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 【短期】災害の発生を未然に防ぐため、河川改修、海岸の地震・津波対策を行う。
 【中長期】更なる治水安全度の向上を図るため、引き続き河川改修を行い、整備済の施設について、出水時に機能を十分に発揮できるように維持管理を行う。あわせて逃げ遅れゼロを目指し、ハザードマップによる危険箇所の周知、危機管理型水位計及び河川監視カメラの設置等、的確な避難行動につながるソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	水系名	工程	
				短期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河川整備の推進	高知県、北川村	奈半利川	河川改修	
	適切な河川等の維持管理	高知県	奈半利川	土砂・立木の浚渫・除草、河川巡視、モニタリング	
	内水排除	高知県、田野町	奈半利川	排水機場の整備・維持管理	
	清水バイパスの整備	高知県	奈半利川	清水バイパスの整備	
	ダム事前放流の実施	高知県、電源開発	奈半利川	事前放流の実施	
	森林の保全・整備	安芸森林管理署、森林整備センター、高知県、田野町、奈半利町、北川村、馬路村、流域関係者	奈半利川	森林整備、治山事業	
				森林の保全活動	
	農地の保全・整備	高知県、田野町、奈半利町、北川村、馬路村、流域関係者	奈半利川	農地整備・多面的機能支払交付金	
	砂防関係施設の整備	高知県	奈半利川	砂防関係施設の整備	
	流木対策の推進	四国森林管理局、高知県、流域関係者	奈半利川	流木対策の推進	
地震、津波対策	高知県	奈半利川	海岸の地震津波対策		
被害対象を減少させるための対策	土地利用の検討	高知県、田野町、奈半利町、北川村、馬路村	奈半利川	土地利用の検討 等	
	水害リスクの低い地域への重要施設の移転	田野町	奈半利川	重要施設の移転	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水位計・カメラの設置、水位情報及び土砂災害警戒情報等の提供	高知県	奈半利川	ICTを活用した洪水情報の提供整備（水位・河川監視）	
	避難の判断に必要な情報の提供	高知県	奈半利川	ICTを活用した避難情報の提供整備（防災アプリ）	
	各種浸水想定区域、土砂災害警戒区域の指定・公表	高知県	奈半利川	浸水想定図、土砂災害警戒区域の指定・公表	
	各種ハザードマップの作成、公表、周知	田野町、奈半利町、北川村、馬路村	奈半利川	ハザードマップの改良、周知	避難訓練の実施
				要配慮者利用施設の避難確保計画作成支援	
	安全な避難のための取組・防災教育（要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進、防災教育・避難訓練の実施）	高知県、田野町、奈半利町、北川村、馬路村、流域関係者	奈半利川	防災学習及び避難訓練による意識啓発	
発災時の応急措置及び発災後の早期復旧のための取組（防災拠点と緊急輸送ルートの確保）	国、高知県	奈半利川	防災拠点と緊急輸送ルートの確保		

■事業規模
河川対策（約100億円）
海岸対策（約5億円）

気候変動を踏まえた更なる対策を推進